

责任编辑:黄新路
责任校对:吴 昀
封面设计:丁 丁
责任印制:杨丽贤

图书在版编目(CIP)数据

大学日本語学习参考. 第1、2册 / 王廷凯主编; 何午编著. —成都: 四川大学出版社, 2005.3

(大学日语教材系列)

ISBN 7-5614-2993-2

I. 大... II. ①王... ②何... III. 日语-高等学校-教学参考资料 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 020380 号

书名 大学日本語学习参考(第1~2册)

主 编 王廷凯
出 版 四川大学出版社
地 址 成都市一环路南一段24号(610065)
发 行 四川大学出版社
印 刷 郫县犀浦印刷厂
开 本 787mm×1092mm 1/16
印 张 12.75
字 数 290千字
版 次 2005年3月第1版
印 次 2005年3月第1次印刷
印 数 0001~5000册
定 价 32.00元(含光盘一张)

◆读者邮购本书,请与本社发行科联系。电话:85408408/85401670/85408023 邮政编码:610065

◆本社图书如有印装质量问题,请寄回出版社调换。

◆网址:www.scupress.com.cn

版权所有◆侵权必究
此书无本社防伪标识一律不准销售

前 言

本书的编写目的，是想为我国高等院校文科专业提供一套内容新颖、适用性较强的公共外语教材，或作为外语院校的第二外语教材。在语法，句型及练习系统的编写方面兼顾了自学者的需要和各种考试的要求。

全书共分四册。每学期学习一册，每周按 4-6 学时安排。语音部分一般安排三周学完。为方便自学读者需要和适应各种考试的要求，我们还分别编写了《大学日本语学习参考（第 1~2 册）》和《大学日本语学习参考（第 3~4 册）》两本学习参考书。

本书课文全部选自日本原文作品。其中第 1、2 册课文以日本早稻田大学语学研究所编的《日本语教科书》（改订版）为蓝本。第 3、4 册的课文也都取自日本原著。根据我国普通高等院校文科专业和外语院校学生的特点以及自学考试和日语等级考试的要求，我们深入浅出地编写了课文注释，语法讲解，句型说明和练习系统。

本书的第 1、2 册的特点是以日常生活为题材，以掌握基础词汇和基础语法知识为目标。课文易读，采用敬语体，口语性强，便于学习、掌握和运用。第 3、4 册是第 1、2 册的继续和深化。第 3 册在第 1、2 册的基础上侧重于语法，词汇，句型的巩固和扩充以及提高阅读理解能力。第 4 册则侧重于综合运用能力的培养和全面提高语言运用能力。第 3、4 册也可单独作为阅读教材使用。

本书经过修改后，语法和句型的讲解比原书更科学和合理。改进最多的是练习系统，增加了多种练习形式和扩大了练习量，练习内容更加有助于掌握课文和提高语言的实用能力，尤其是加强了适应各种考试的针对性。

第 1、2 册书各 20 课，第 3、4 册书各 16 课。各课内容由课文，生词，课文注释，语法，句型和练习系统组成。为了便于自学和适应当前日语等级考试，我们还新编写了《大学日本语学习参考（第 1~2 册）》和《大学日本语学习参考（第 3~4 册）》两书以及一本《大学日本语听力训练及等级考题》（包括文字材料和听力录音光盘）。

全书课文共有单词约 3300 个。其中 1、2 两册约有 1400 个，3、4 两册约有 1900 个。考虑到初学阶段的实际情况，我们在 1、2 册书中单词后面用数字标注有读音音调标记。这是根据《新明解国语辞典》（日本三省堂出版）所标注，可供初学者参考。

单词后面的略语符号为：

[名]	名词
[代]	代词
[数]	数词
[形]	形容词
[形动]	形容动词
[副]	副词
[接]	接续词
[连]	连体词
[他]	他动词
[自]	自动词
[五]	五段动词
[上一]	上一段动词
[下一]	下一段动词
[サ]	サ变动词
[力]	力变动词
[组]	词组
[接头]	接头词
[接尾]	接尾词

本套《大学日本语》由王廷凯主编。第1册由杨霞斐（语音部分由晋学新编写）；第2册由何午；第3册由毛青兰；第4册由晋学新编写。《大学日本语学习参考（第1~2册）》由何午、杨霞斐编写；《大学日本语学习参考（第3~4册）》由毛青兰、晋学新编写；《大学日本语听力训练及等级考题》由晋学新编写。语音部分的录音和课文录音由晋学新选编。

参加第一版编写工作的臧俐、曾庆珠、姚继中三位老师由于工作变动，没有参加这次编写工作。对他们过去所做的工作表示感谢。

这次编写工作得到四川大学出版社外语编辑室黄新路老师的大力支持和热心指导，在此表示衷心的感谢。

由于编者水平有限，时间仓促，缺点和错误在所难免，欢迎广大读者批判指正。

四川外语学院日语教材编写组

2004年10月

《大学日本语》再版说明

《大学日本语》自 1994 年由原成都科技大学出版社出版以来，受到广大学习日语读者的关注，曾多次印刷。随着形势的不断发展，原书内容有些方面已不能适应当前形势的需要。为满足广大读者的要求和日语学习的需要，我们这次在保留原书的语言框架和语法体系的基础上进行了较大的改动，现由四川大学出版社（原四川大学出版社和成都科技大学出版社合并而成）再次修订出版。

新版第 1、2 册保留原书课文，第 3、4 册课文做了少量调整。现在全书的语法、句型的讲解与叙述比原书更科学和合理。在练习系统方面，我们增加了多种练习形式，练习量也比原书增加了许多，使其针对性更强，更加切合实际。新的改动有助于学习、掌握课文和发展语言应用能力以及适应当前各种考试的实际情况。

为了便于自学和适应当前日语等级考试的需要，我们还新编写了《大学日本语学习参考（第 1~2 册）》和《大学日本语学习参考（第 3~4 册）》。前一本书包括 1、2 册语法总结，1、2 册课文练习和单元练习答案以及综合练习题等。后一本书包括课文译文，课文练习答案和单元练习答案以及综合练习题等。另外，在两本学习参考书中各附有光盘 1 张。光盘内容分别为各册课文的录音（包括日语语音部分），录音均由日本语言专家录制。

为了配合和适应日语听力等级考试的要求，本系列丛书我们新增编了一本《大学日本语听力训练及等级考题》，包括文字材料和听力录音（附光盘）。此书可供参加日本语能力考试和日语等级考试以及日语自考的考生考前进行强化培训。

希望修订再版后的《大学日本语》能满足读者的需要。对于书中的不足之处也请指出，以便今后不断完善。

编者

2005.1

目 录

第1单元	《大学日本语》第1~2册语法总结.....	1
第2单元	《大学日本语》第1~2册近义词总结.....	22
第3单元	《大学日本语》第1册1~20课及单元练习答案.....	58
第4单元	《大学日本语》第1册综合练习题及答案.....	91
	综合练习题 1	91
	综合练习题 2	97
	答 案	103
第5单元	《大学日本语》第2册1~20课及单元练习答案.....	107
第6单元	《大学日本语》第2册综合练习题及答案.....	138
	総合練習問題 1	138
	総合練習問題 2	147
	総合練習問題 3	153
	総合練習問題 4	163
	総合練習問題 5	172
	総合練習問題 6	181
	正 解	193

第1单元

《大学日本語》第1~2册语法总结

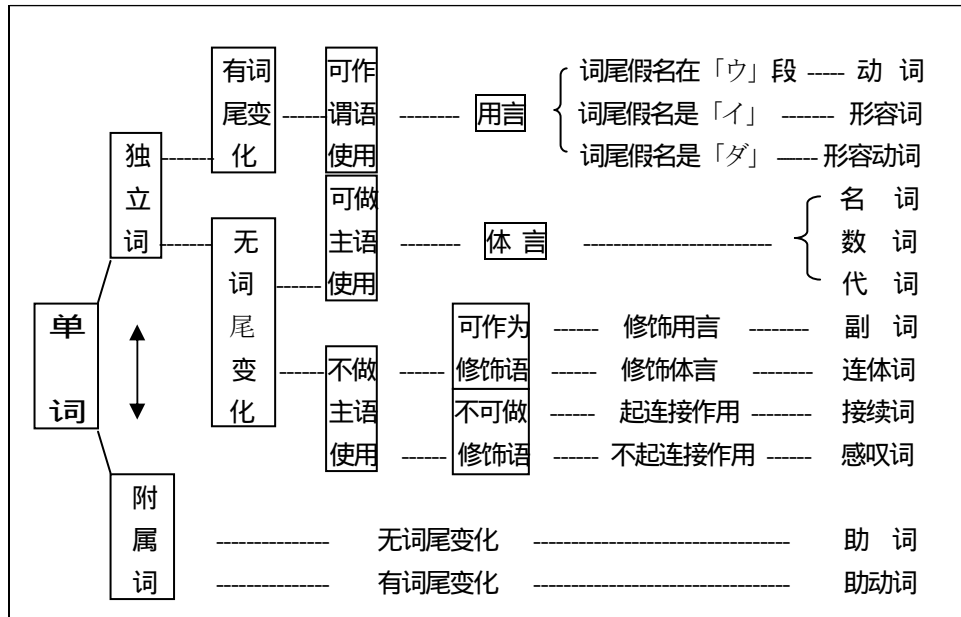
通过《大学日本語》第1、2册共计40课的学习，日语基础语法部分已大体完成。语法学习一定要在概念、定义、活用、接续、搭配等的理解上多下工夫，千万不能用中文机械对应、死记硬背。生搬硬套只能给自己制造麻烦，制造陷阱！如：

在 { 小张在教室 —— 張さんは教室にいます。
 小张在教室做作业 —— 張さんは教室で宿題を書いています。
 小张在教室来回走动 —— 張さんは教室を行ったり来たりしています。

这里我们把学过的内容做如下归纳和说明。

一、日语的词类划分

学习日语记住词类划分是非常重要的。不同的词类，其功能作用、在句中的位置是不一样的。记单词时须同时记住所属的词类，这对日语学习意义重大。我国日语界一般把日语的词汇分为十二大类，其中，独立词十类，附属词两类。



二、日语动词分类

根据形态学、语义学、语用学等，从不同的角度可对日语动词做若干分类。

1. 根据动词的活用变化进行分类

日语动词	五段活用动词	一般五段活用动词
		特殊五段活用动词(尊敬语动词)
	一段活用动词	上一段活用动词
		下一段活用动词
	变格活用动词	サ行变格活用动词
		カ行变格活用动词

2. 从形态、词义等角度进行分类

自动词与他动词 —— 根据动词是否需要宾语所进行的分类。记单词时，应将是哪一段动词、是自动词还是他动词等动词属性以及相应的格助词搭配同时记住。日语动词有的自他对成组，有的没有对应。学习单词时，对应成组的自他动词需特别注意。

自动词·他动词	自动词·他动词	自动词·他动词
起きる・起こす 掛かる・掛ける	来る・(无) 行く・(无)	(无)・打つ (无)・やる

①	②	③	④
自动词·他动词 --- waru · --- eru	自动词·他动词 --- u · --- eru	自动词·他动词 --- eru · --- asu	自动词·他动词 --- reru · --- su
終わる・終える 変わる・変える	育つ・育てる 進む・進める	逃げる・逃がす 晴れる・晴らす	離れる・離す 隠れる・隠す
五段·下一段	五段·下一段	下一段·五段	下一段·五段

⑤	⑥	⑦	⑧
自动词·他动词 --- u · --- asu	自动词·他动词 --- ru · --- su	自动词·他动词 --- eru · --- yasu	自动词·他动词 --- iru · --- osu
済む・済ます 驚く・驚かす	戻る・戻す 映る・映す	生える・生やす 冷える・冷やす	落ちる・落とす 降りる・降ろす
五段·五段	五段·五段	下一段·五段	上一段·五段

⑨	⑩	⑪	⑫
自动词·他动词 --- iru · --- asu	自动词·他动词 --- garu · --- geru	自动词·他动词 --- eru · --- ku	自动词·他动词 (无对应规则)
伸びる・伸ばす 満ちる・満たす	塞がる・塞ぐ 繋がる・繋ぐ	解ける・解く 抜ける・抜く	出る・出す 入る・入れる
上一段·五段	五段·五段	下一段·五段	×

意志动词与非意志动词 —— 根据动词是否表示行为主体的主观意志所进行的分类。意志动词以他动词为主，也包括部分自动词，有意志形活用；非意志动词用以表示客观的自然、生理等现象，以及社会、事物自身的规律，通常为自动词，也包括部分他动词，无意志形活用。

意志动词 —— (を) 食べる・(を) 読む・(を) 使う…… (に) 行く・(へ) 来る……

非意志动词 —— (が) 光る・(が) 流れる・(が) 沈む……

移动自动词 ---- 移动自动词不同于一般意义上的自动词，是专门用于表示行为主体的空间移动(即出发、离开的地点、经过的场所)，其移动的地点和场所须用「を」表示，而到达的目的地则应用「に」表示。

(古里を) 離れる・(学校を) 卒業する・(学校を) 出る・(学校に) 出る……

可能动词 ---- 这是从五段动词转化而来的。可能动词属下一段活用，表示动作行为的可能性、能力等，无意志形活用，其对象应用格助词「が」表示。

(が) 話せる・(が) 読める・(が) 行ける……

※ 五段动词+「れる」、一段动词+「られる」不是可能动词，而是动词的可能态。

来られる・読まれる・食べられる・起きられる

授受动词 ---- 表示行为主体的授予与领受意义的动词。日语的授受动词在使用上非常复杂，其行为的方向性和运动轨迹与人称、敬语、施恩与受惠等语言心理有着密切的关。《大学日本語》在第一册第14课、第二册第6课对此做了详细说明。

敬语动词 ---- 反映语言主体与听话者、话题人物三者之间的上下、尊谦、亲疏等人际关系的动词。日语的敬语动词可分为「尊敬語動詞」「謙讓語動詞」「丁寧語動詞」三类。《大学日本語》在第二册第18、19两课对此做了详细说明。

复合动词 ---- 相对于单纯动词而言，是把两个动词的意义相加而成的，如：食べ過ぎる・話し合う・やり続ける等。

3. 从アスペクト(体)角度进行分类

アスペクト来自英语的“aspect”，中文叫作“体”。从アスペクト(体)角度可将日语动词分为以下四类：

状态动词 ---- 用以表示动作行为主体的存在、状态、能力。日语的状态动词没有持续体(～ている)，而是通过动词的终止形表示其现在的状态和存在；没有命令形；不能后续使役、被动、可能助动词。这都是状态动词的突出特征。属于状态动词的有：

出る・いる・要る・ある・掛かる・過ぎる・可能動詞……

○ 山田君が今教室にいる。 × 教室にいている

○ 机の上に本がある。 × あっている

日语状态动词有许多须以「～は～が～」的对象语形式使用。

○ 私は寒気がする。

○ 僕も英語が話せる。

持续动词 ---- 可以表示在一段时间范围内不间断的动作行为。以「～ている」为其形态特征。持续动词的数量最大，日语绝大部分的动词都集中在这一类。如：

書く・泣く・歌う・聞く・読む・考える・食べる・勉強する……

- あのたばこを吸っている人は誰ですか。
- 山田さんは今宿題を書いている。

瞬间动词 ---- 用以表示动作行为完成或结束后，行为主体就一直处于该动作行为所造成的结果之中。日语瞬间动词不是用以叙述动作行为的发生过程，而是着眼于最终结果，因而是静态的。在语法上，瞬间动词作谓语时，应用「～ている」的形态表示；做定语时，则多为「～た」。

瞬间动词	动作发生(动态)	行为结果(静态)	定语形式
死ぬ	→ 死んだ	→ 死んでいる	→ 死んだ犬
結婚する	→ 結婚した	→ 結婚している	→ 結婚した人
咲く	→ 咲いた	→ 咲いている	→ 咲いた花

属于瞬间动词的有：

知る・死ぬ・覚える・残る・咲く・空く・卒業する・生きる・消える……

- 銀行はまだ開いているか。
- 授業はもう始まっていますよ。
- あの眼鏡を掛けた人は山田さんですか。

日语有的动词具有双重词性，既可作瞬间动词，也可做动作行为动词使用。

- 山田さんは町へ行った。(动作发生)
- 山田さんはアメリカへ行っている。(行为结果)
- 山田さんは去年結婚した。(动作发生)
- 山田さんはもう結婚している。(行为结果)

状态及性质动词 ---- 用以表示事物所具有的状态与性质。状态及性质动词与动作行为无关，倒是具有形容词的特征，因此也称为形容词性动词。

与前面的状态动词不同，状态及性质动词不是动作行为主体的存在、状态与能力，而是事物目前所具有的状态和性质，因此在形态上必须以「～ている」的形式做谓语，以「～た」的形式作定语。与瞬间动词不同的是，状态及性质动词不涉及动作行为的完成与否，而是现有的状态和性质。属于这一类的动词有：

光る・優れる・尖る・富む・似る・太る・痩せる・曲がる……

- 和子さんは大きな目をしている。
- 鈴木さんは優れた成績を取っている。
- 目には大粒の涙が光っている。

以上所列动词分类是日语动词分类法中最常见的几种，在语法学习中有着极重要的作用，在1、2册语法讲解中也多次提到，望学习者牢牢记住。

三、日语的补助动词

补助动词是与独立动词相对而言的。补助动词不能单独表达意思，而是对前接动词起补充说明和语法功能。补助动词的形态特征是必须以「～て」的形式与独立动词相接续。日语补助动词在第1、2册基本上都已学过。如：

- | | | | |
|------------|-------------|---------|----------|
| (～て) いる | (～て) いらっしゃる | (～て) おる | (～て) まいる |
| (～て) ある | (～て) いく | (～て) くる | (～て) しまう |
| (～て) もらう | (～て) いただく | (～て) やる | (～て) あげる |
| (～て) ちょうだい | (～て) くださる | (～て) おく | (～て) くれる |
| (～て) みる | (～て) ごらんなさい | | |

四、日语的形容词、形容动词

形容词、形容动词与动词共同构成日语的用言，用以表示事物的性质、状态，以及人的感情、感觉。日语形容词、形容动词有词干、词尾之分，有自己的活用规则。这些在《大学日本语》第1册里已经学到。在表示性质、状态时，日语形容词、形容动词具有客观性，对人称也没有特殊要求，这是其特点的一面；在表示感情、感觉时，具有主观性，对人称及使用形式有着严格的限制，这是其特点的另一面，也是学习者极容易出错之处。（参见第2册第3课）如：

- × 私の心は寂しい。 → ○ 私は寂しい。
- × 彼は大変嬉しい。 → ○ 私は大変嬉しい。
- × 私は英語を好きだ。 → ○ 私は英語が好きだ。
- × 私は辞書をほしい。 → ○ 私は辞書がほしい。

根据日语形容词、形容动词的意义，可对其做如下分类：

日语 形容词 形容动词	属性形容词、形容动词 (客观表达) 感情・感觉形容词、形容动词 (主观表达)	表示感情 (整体感受) 表示感觉 { 整体感觉 局部感觉
-------------------	---	------------------------------------

属性形容词、形容动词 ---- 表示人或事物的客观属性，不受人称限制。日语形容词、形容动词的大部分都集中在这一类里。如：

高い・易しい・大きい・親切だ・静かだ・きれいだ・賑やかだ……

○ あの建物は高いですね。

○ この方は親切ですね。

感情・感觉形容词、形容动词 ---- 表示说话者心理上的主观情感和生理上的主观感觉，原则上只能用于第一人称，因而也称为第一人称形容词。如：

嬉しい・悲しい・寂しい・苦しい・痛い・冷たい・嫌だ・嫌いだ……

- × 彼はとても悲しい → ○ 私はとても悲しい
- 彼はとても悲しがっている

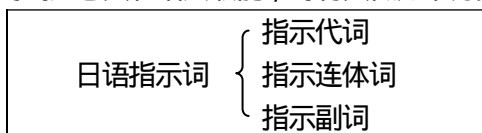
同时，感觉形容词又分为“局部感觉”和“整体感觉”，「だるい・痛い・冷たい・苦しい……」等就是表达“局部感觉”的，且应用「～は～が～」形式；而「暖かい・眠い・涼しい・眩しい……」等就是表达“整体感觉”的。

- × 私の頭が痛い → ○ 私は頭が痛い
- × 私の胸が苦しい → ○ 私は胸が苦しい
- × 私は手が暖かい → ○ 私は暖かい

日语形容词、形动词的活用及其音变，教材上已做详尽说明，望仔细阅读并牢记于心。

五、日语コ・ソ・ア・ド指示词

日语指示词不是一个单独的词类，而是诸多表示指示意义的词类的总称。由于其近称、中称、远称、不定称均由コ・ソ・ア・ド为词头，故也称为コ・ソ・ア・ド指示词。根据日语指示词不同的词汇意义和语法职能，可将其做如下分类：



指示代词	近 称	中 称	远 称	不 定 称
人 称	この方	その方	あの方	どの方
指示代词	この人	その人	あの人	どの人
事物指示代词	これ	それ	あれ	どれ
场所指示代词	ここ	そこ	あそこ	どこ
方 位	こちら	そちら	あちら	どちら
指示代词	こっち	そっち	あっち	どっち

	近 称	中 称	远 称	不 定 称
指 示	こ の	そ の	あ の	ど の
连体词	こ ン ナ	そ ン ナ	あ ン ナ	ど ン ナ
指 示	こ う	そ う	あ あ	ど う
副 词	こ ン ナ ニ	そ ン ナ ニ	あ ン ナ ニ	ど ン ナ ニ

事物指示代词和方位指示代词可转用作人称指示代词。如：

- これは私の息子です。
- こちらは日本橋商社の山田さんでいらっしゃいますか。

「ここ」除作为场所指示代词外，还可与时间数量词和时间副词组合，表示最近的一段时间，起修辞作用。

- ここ10年間，この町は大きく変わってきた。
- ここしばらく雨は止まないだろう。

这里，我们把日语指示词的用法归纳如下：

1. 指代现场事物

近称（コ系）---- 指代与说话者空间距离近、或与说话者关系密切的人、事物、场所、方向、范围等。当谈话双方同在一处时，则指代与双方同等近距离的同一事物。

< 说话者双手各持一支笔边示意边做介绍 >

- これは普通の万年筆で，これはボールペン付きの万年筆です。

< 现场介绍 >

- ここは図書館です。そこは教室ビルです。あそこは講堂です。

< 两人同在一处 >

- 「ここはどこですか。」
「ここは病院です。」

中称（ソ系）---- 指代与听话者空间距离近、或与听话者关系密切的人、事物、方向、范围等。当谈话双方同在一处时，则指代与双方同等较远距离的同一事物。

< 电话交谈 >

- こちらはまだ寒いですが，そちらはどうですか。

< 两人同在一处 >

- 「そこはどこですか。」
「そこは病院です。」

< A 在教室外，B 在教室里 >

- A 「そこはどこですか。」
B 「ここは一年生の教室です。」

远称（ア系）---- 指代距交谈双方空间距离均远的地方、人、事物、方向、范围等。

- 「向こうに見えるあの木はどんな木ですか。」
「あれですか。あれは桃です。」
- 夏休みに九州へ行ってきたが，あそこの人の話にはちょっとなまりがありますね。

不定称（ド系）----- 指代尚未确定的、有疑问的地方、人、事物、方向、范围等。

- 手紙にはどんなことが書いてありますか。
- 日本茶と紅茶とどちらにしますか。
- しばらくはのんびりしたいのですが，どこかいいところはありますか。

2. 指代谈话内容（包括思考、独白）

近称（コ系）---- 指代谈话者自己的感受，要强调说明的、不说对方就不明白的内容。

- 早寝早起き，これはなかなか難しいことなんです。
- ここが大事なところですよ。よく聞きなさい。

○ いいえ、違います。日本語では「うま」はこう発音する ---- 「UMA」。
中称 (ソ系) ---- 指代说话者在前面已经明确提到的谈话内容；指代与对方有关的、或是对方提出的内容；也可以指代说话者自己不甚了解、有疑问的内容。

- 一人は部屋の中、もう一人はその外にいる。
- 早寝早起きですか。それはいい習慣ですね。
- それはいつのことでしたか。

远称 (ア系) ---- 指代谈话双方均已知晓的某一特定内容；用以指代大多数人所熟知的、属于常识性的内容。

- 「あれはどうでしたか。」
「もう大丈夫ですよ。」
- きみ、あの有名な歌手も知らないの。
- え、知ってる？あの東京から来た人、子供が生まれたそうだよ。

不定称 (ド系) ---- 指代尚未确定的、有疑问的地方、人、事物、方向、范围等。还可用以表示程度、状态。

- 山田さんはどんな人ですか。
- 君、彼のことをどう思う？
- この手紙を読んだら、母はどんなに喜ぶでしょうね。

3. 指代前后文脉

近称 (コ系) ---- 用以指代在上文里提到，但作者要重点阐述的内容，或在下文里将要告知读者的内容。文章中的指代可能是一个词、一句话，也可能是一段文章。

- 本日、午後3時に、銀座通りで現金強奪事件が起こった。警察の発表によれば、事件の経過はこうである。事件の発生は……

中称 (ソ系) ---- 指代在上文中已经说明，读者已然知晓的内容；转述他人的观点、意见；或是作者本身尚不清楚的内容。文章中的指代可能是一个词、一句话，也可能是一段文章。

- Aさんが殺されたのは午後3時であったという。しかし、そのころ外出していた私は6時になるまでそれを知らなかった。

远称 (ア系) ---- 指代大家都了解的某一特定事项。其内容可能是一个词、一句话，也可能是一段文章。

- 現代傑出した知的巨人の一人として注目されている人に、アルバート・アインシュタインがある。が、周知のように、あの非凡な科学者は子供のころ、学校一の馬鹿であった。

不定称 (ド系) ---- 指代指代尚未确定的、有疑问的地方、人、事物、方向、范围等。还可用以表示程度、状态以及用于句型、固定词组表达。

- たいていのものはアルカリ性が酸性で、そのどちらでもないものを中性と言う。

六、日语的副词

根据日语副词的意义和作用，可将日语副词分为三大类：情态副词·程度副词·陈述副词。

情态副词 ---- 用以描写事物、动作行为的状态、样子、声音的副词，包括状态副词、象声副词和拟态副词。为加强语气，象声副词和拟态副词可用片假名书写。

属于情态副词的有：

すぐ・ゆっくり・ときどき・やっとう・とうとう・じきに・どきどき・急に……

- どんな問題がでるだろうか。胸がドキドキする。
- 競争することにした。しかし、私はじきに苦しくなった。

程度副词 ---- 用以表示动作行为、事物的程度。如：

少し・もっと・とても・最も・ずっと・たくさん・大勢・一番……

- いつももっと上のほうです。
- このほうがずっといいです。

陈述副词 ---- 对谓语的叙述方式进行修饰、限定的日语副词。陈述副词必须与否定、肯定、推量、假定、意志等表达前后呼应，搭配使用，因而也叫作“呼应副词”。

陈述副词（呼应副词）

实质：表达语言主体的主观意识与情感

功能：诱导后续内容的展开，修饰、限定谓语的陈述方式

特点：前呼后应，搭配使用

需要与否定意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

あまり～ない 全然～ない それほど～ない 絶対～ない
ちっとも～ない とても～ない まるで～ない 少しも～ない……

- 今日はあまり寒くありません。
- 私は外国語はまるで だめなんです。

需要与推量意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

たぶん～だろう きっと～だろう どうも～らしい
恐らく～だろう……

- 午後からはたぶん雨が降るでしょう。

需要与希望、请求意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

どうぞ～ください どうか～ください どうしても～たい
ぜひ～たい・お願いします・ください……

- ぜひ行かせてください。
- でも、どうしても大学に入りたい。

需要与疑问、反问意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

なぜ～か どうして～か……

- きみはなぜ学校へ行かないのか。

需要与假定意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

もし～ば・と・たら……

- もし先生に知られたら困るよ。

需要与让步假定意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

いくら～ても・ところで どんなに～ても・ところで……

- いくらやってみてもうまくできないなあ。

需要与比喻、外观感觉意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

まるで～ようだ ちょうど～ようだ どうも～そうだ……

- この空模様では、どうも雨になりそうだ。

需要与肯定判断、肯定意志意义的呼应形式搭配的陈述副词有：

必ず～する やっと～う（よう） もちろん～する

- はい、必ず 行きますよ。

七、日语的连体词

连体词，顾名思义是连接体言的词汇，其功能作用是作定语。1、2 册所学过的有：

ノ型	この・その・あの・どの
ナ型	大きな・小さな・こんな・そんな・あんな・どんな
ル型	ある（あらゆる・いわゆる・去る・来たる---未学）

八、日语的格助词

格助词是日语助词之一（参见第 2 册第 8 课），除个别词外，原则上格助词应接续在体言后，表示该体言与谓语以及其它体言之间的关系。日语的格助词共有 10 个，分属以下四类。

主格助词 ---- が
领格助词 ---- の
宾格助词 ---- を
补格助词 ---- に・で・へ・と・から・まで・より

主格助词 ---- が

「が」是主格助词，接在体言及体言性词组之后，主要功能是使该体言构成主语成分，此外还可构成对象语（第 2 册第 3 课）

(1) 表示主语，尤其是以不定称词、疑问词做主语时必须以「が」表示，其回答亦如此。

- 教室には誰がいるか。
- 赤いのが私のです。

(2) 表示对象语

- 私は『日漢辞典』がほしいです。
- 趙さんは日本語が分かりますか。

领格助词 ---- の

领格助词的主要功能是表示体言之间的领属关系，使所接词汇在句中做定语成分。

(1) 构成定语

- 公園の入口はどこですか。
- これは誰の本ですか。

(2) 代替主格助词「が」，在定语子句表示小主语、对象语。

- 中国ほど，人口の多い国はないでしょう。
- この会社には，英語の話せる人はいますか。

宾格助词 ---- を

「を」是宾格助词，接在体言及体言性词组之后，主要构成他动词的宾语，还可与部分自动词搭配，表示补格意义。

(1) 表示宾语

- 手紙を書いている。
- 田中さんが旅行に出ないことを知っているか。

(2) 与移动自动词搭配，表示出发、离开的地点和经过的场所。与心理活动的自动词搭配，表示其内容。

- 教室を出る前に電灯を消しなさい。
- 飛行機が空を飛んでいる。
- この日は，村じゅうお祭りを楽しんでいる。
- 油断を恐れる。

常见的与「を」搭配的自动词有：

飛ぶ・急ぐ・歩く・渡る・走る・降りる・流れる・立つ・出る・登る・楽しむ・恐れる・通る・卒業する・越える・回る・通じる……

补格助词 ---- に

「に」有补格助词和并列助词之分。作为补格助词，「に」接在体言及体言性词组之后，表示以下意义：

1	具体时间点	月曜日に行く	8	范围设定	私には難しい
2	存在地点	教室にいる	9	动作对象	親に手紙を書く
3	归着点、落脚点	ホテルに泊まる	10	阐述的问题点	嬉しいことに
4	来去的目的地	学校に行く	11	被动句的施动者	親に叱られた
5	行为目的	友達を迎えに出る	12	依据、来源	新聞によると
6	变化、选定的结果	医者になる	13	心理活动的对象	地震に驚く
7	比例基准	一年に一度	14	原因理由	南風に帆を張る

※「1時にやる」「1時間でやる」——「に」表示具体时间点；「で」表示时间段。

※「午前・午後・昼・今・いつ・おととい・昨日・今日・明日・あさって・先日・本日・今朝・夕べ・朝・晩・先週・今週・来週・毎日・去年・今年・来月・先月」等词后不加「に」。

※「学校に出る」「学校を出る」——「に」表示归着点、目的地；「を」表示出发
离开地点。二者正好相反。

补格助词 ---- へ

(1) 表示大致方向

- どうぞこちらへ。
- 右のほうへ曲がってください。

(2) 表示目的地、归着点(可与「に」互换)

- 家へ帰る。
- 町へ行く。

※ 与领格助词「の」重叠使用作定语时，只能用「へ」

- これは両親への手紙です。 × これは両親にの手紙です。

补格助词 ---- で

1	动作行为的场所	寮で手紙を書く	6	数量限定	3つで300円です
2	范围	世界で一番高い山	7	持续的终止点	今日で半年になる
3	原材料	木で家を作る	8	行为主体	警察で結果を発表する
4	工具・手段	バスで行く	9	原因理由	戦争で親に死なれた
5	方式・方法	大声で話す	10	程度限定	授業はこれで終わる

王さんは教室にいる。(「に」---- 存在的地点)

王さんは教室で勉強している。(「で」---- 动作行为的场所)

- ※ 王さんのおかげ(×に ○で) 無事に帰ってきた。(おかげで)
- 海拔1000メートルの高原だけ(○に ×で) 冷える。(だけに)

补格助词 ---- と

「と」有补格助词、并列助词、接续助词之分。作为补格助词，「と」接在体言及体言性词组之后，表示以下意义：

(1) 表示动作行为的共同者

- 昨日、友達と一緒に映画を見に行った。

※ 山田さんに会った。「に」---- 单方面行为

山田さんと会った。「と」---- 相互行为

(2) 表示内容、称谓

- 私は田中と申します。
- 行きたいと思う。

(3) 表示比较的对象、参照物

- 日本語は英語と同じように難しいか。
- 形はそれと似ているが、色が違う。

补格助词 ---- から

「から」有补格助词和接续助词之分。作为补格助词，「から」接在体言及体言性词组之后，表示以下意义：